

課題番号：共-6

課題名	廃炉プロセス「共通項目」 検討対象「リスク評価」 課題「」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	-		燃料デブリ取り出し		1		
ニーズ	望ましい状態とその理由		PCV/RPV/建屋の解体				
			輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				
			(参考) 関連する研究課題				
1	リスク評価手法を確立したい ●福島第一原子力発電所における放射性物質に起因するリスクを適切に把握し、安全着実な廃炉を実施するために、福島第一原子力発電所におけるリスク源を特定し、対策が必要と見込まれる事象やリスク源を明確化する必要がある。そのために、リスク評価手法を確立しておくことが望ましく、また、継続的に評価結果を更新していく必要がある。 ●リスクを「発生頻度」と「影響度合い」の掛け合わせとして示される指標とした時、基礎基盤マップに掲載されているような福島第一原子力発電所に内在する数多くの課題に対して「発生頻度」と「影響度合い」を評価し、重要度を勘案して、重点的に取り組む対象を決定していくことが望まれる。	【実施されている研究課題】					
		特になし					
		【検討されている研究課題】					
		特になし					
関連する課題	デブリ-213「燃料デブリ取り出し方針」 デブリ-214「デブリ回収戦略の構築」 デブリ-215「総合的なリスク管理方策の確立・運用」 解体-203「解体シナリオ・分別戦略の策定」 処-203「処分概念の構築」						